

【会誌二〇〇号の修正】

前回発行の内容について修正部分が見つかりましたのでお知らせします。

・ P 7 図2 津波時の潮位図の数値変更(左図)

・ P 15 解説・挿絵 ↓ 解説・挿絵

・ P 15 後ろより2行 篠原小竹 ↓ 篠崎小竹

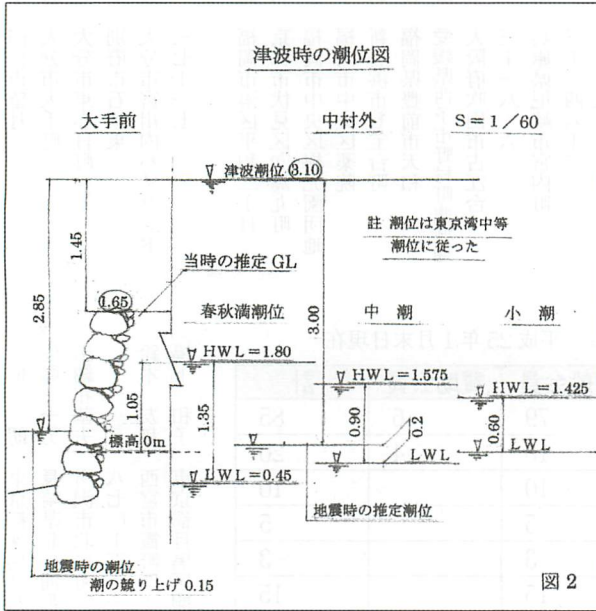


図 2

○内=訂正事項

【表紙解説】

表紙の橋は、天草本渡市の町山口川に架かる大石橋です。

熊本県文化財になっていきます。

天保三年(一八三二)年に架橋され天草島民に限りなく便宜を与えた橋です。

橋の長さは二八m、橋桁が五本九列、四五脚の石橋です。祇園神社の前にあるため、通称祇園橋と呼ばれています。傍にはこの橋建設の発起人である町山口村庄屋、大谷健之助、世話人久屋与一平、若松屋次平、叶屋伊平、石工下浦村石屋辰右衛門と記した記念碑が建っています。この橋は多脚橋で眼鏡橋の多い熊本県ではめずらしい物です。